



笛吹社協だより かけはし

『できる』が増える自分らしい生活
～生活のパートナー「ホームヘルパー」との二人三脚～

CONTENTS

～ 目次 ～

- P2 ▶ ● 新理事・評議員紹介
新旧会長のご挨拶
- P3 ▶ ● じぶんの町をよくするしくみ
赤い羽根共同募金
- P4 ▶ ● 『できる』が増える自分らしい生活
～生活のパートナー「ホームヘルパー」
との二人三脚～
- P5 ▶ ● 市民イベント情報
- P6 ▶ ● 倉嶋市長コラム「今日も桃源郷気分」
福祉サービス利用援助事業のご案内
善意の寄付・寄贈の御礼
- P7 ▶ ● 「ふえふき通信」

発行

社会福祉法人

笛吹市社会福祉協議会

住所／〒406-0822 笛吹市八代町南 917
電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183

広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘



新理事・評議員

社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会役員等選任規程に基づき、10月1日の理事会・評議員会において新理事17名・新評議員37名が選任され、10月9日の理事会・評議員会で委嘱されました。それに伴い同理事会で互選により新会長に早河正弘、副会長に中村長年・竹内稔が選出されました。

新理事・評議員を中心に社協一丸となって「住みやすい地域づくり」において前進してまいります。今後とも住民の皆様の支援ご協力をお願い申し上げます。

役職員一同

理事 (敬称略)

会長 早河 正弘 [一宮]
副会長 中村 長年 [境川]
副会長 竹内 稔 [石和]
網倉 義久 [石和]
飯塚 充子 [石和]
保崎 邦雄 [御坂] (新任)
塚越 忠昭 [御坂] (新任)
雨宮 美枝 [一宮]
長坂 清悟 [八代]
樋口 黎猛 [八代]
宮澤 黎夫人 [境川]
古山 光世 [春日居]
山野 今朝幸 [芦川]
澤下 真弥 [学識経験者] (新任)
山田 田尚 [学識経験者] (新任)
橋田 一二美 [笛吹市役所]

監事 (敬称略)

關本 得郎 [石和]
小川 利英 [春日居]

評議員 (敬称略)

長澤 宏昌 [石和]
岡田 彌生 [石和]
柿島 岐美恵 [石和] (新任)
関本 藤一郎 [石和]
土屋 光昭 [石和] (新任)
荻野 敏子 [石和] (新任)
植村 詔子 [石和] (新任)
風間 勤 [御坂]
花田 晴雄 [御坂]
細田 豊 [御坂]
志村 金夫 [御坂] (新任)
箸本 幸子 [一宮]
石原 正治 [一宮]
渡部 源吉 [一宮] (新任)
中村 和子 [八代]
飯塚 秀子 [八代] (新任)
小林 信一 [八代] (新任)
長田 美津恵 [境川]
雨宮 千代子 [境川]
田中 昭子 [春日居]
竹下 真澄 [春日居] (新任)
窪田 信一 [春日居] (新任)
宮川 正夫 [芦川] (新任)
芦澤 薫 [芦川]
戸島 義人 [各種団体代表]
島村 鉄二 [各種団体代表]
荻原 智恵 [各種団体代表] (新任)
星合 深妃 [各種団体代表] (新任)
芦沢 義男 [各種団体代表] (新任)
片岡 国男 [各種団体代表] (新任)
高野 裕司 [各種団体代表] (新任)
飯島 尚美 [笛吹市役所]
小宮 山和 [笛吹市役所]
飯島 重人 [笛吹市役所] (新任)
成島 春人 [笛吹市役所]
初鹿 肇 [笛吹市役所] (新任)
鬼島 和昭 [笛吹市役所] (新任)

早河新会長挨拶

平成26年10月9日理事会



この度皆様の思いをいただき、会長に選任いただきました。古屋会長、網倉会長を中心に運営発展してまいりました社協を引継ぎ、さらに努力し前進させてまいります。

網倉会長におかれましては、理事を10年勤められ、その内3期6年会長を勤められました。私も副会長として、微力ではございますが勤めさせていただきました。官から民へという流れの中、民間の活力を強力に進め、大きな柱をいくつも立ててくださいました。心から感謝の意を皆様と共に捧げたいと存じます。

私のセールスポイントは、年齢を重ねる中で様々な経験をさせていただいたことでございます。今後の社協運営にあたり、これまでの10年の歴史と伝統を守りながら、行政、理事・評議員、地域の役員、社協の職員など、皆様のお力をお借りし、協議する中で、市民のために地域福祉を推進してまいりたいと存じます。

皆様のご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

網倉前会長挨拶



6年前に、会長の選任をいただきまして、瞬く間に時が過ぎ今日を迎えました。

本日、早河正弘様が会長に選任され、最適任の方で良かったと心から思っております。これからの笛吹社協をどうぞよろしくお願いいたします。

私が会長に就任した時、市民から信頼される社協など3つの約束をさせていただき、微力ながらそれを実行する中で、活動する社協として県内外にその名を広めることができたと自負しております。これもひとえに市民の皆様と職員のお蔭と感謝しております。笛吹社協の職員は優秀で熱意があり、私は指示するだけでしたがここまで成長し、そのお蔭で私も成長させていただいたと思っております。

理事・評議員の皆様はもとより社協関係者の皆様は笛吹社協の応援団として、これからも早河会長を盛り上げていただき、ますます素晴らしい社協にしてくださいようお願い申し上げます。そして、早河会長には地域福祉推進とともに、社協の経営基盤を盤石なものにさせていただきたいと思っております。

皆様には長い間お世話になりまして、ありがとうございました。

じぶんの町を
良くするしくみ

赤い羽根共同募金に ご協力お願いします!!



10月1日 石和温泉駅前にて街頭募金活動
石和北小学校の児童と社協レンジャー

今年で68回目を迎える共同募金運動が、10月1日から12月31日まで行われます。
皆さまからお寄せいただいた募金は、誰もが住みなれた地域で、安心して暮らすことができる
まちづくり支援のために活用されています。今年も皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

昨年度お寄せいただいた募金総額 **13,803,550円**

笛吹市では主にこのように使われています

子ども・障がい者のために



子どもと障がい者の
交流事業を行っています。

高齢者のために



閉じこもり予防、介護予防、生きがい
づくりを目的にサロンを行っています。

災害時に



2月の大雪の際、笛吹市雪害ボランティア
センターの運営資金として助成されました。

家庭募金 1世帯800円の使いみち



なぜ目標額があるの?

共同募金は、寄付が集まってから使い道を決める募金ではなく、
あらかじめ地域の要望を受けてから募金を行う「計画募金」です。
申請を受けてから、必要性などを考慮し、目標額が決定します。

平成26年度募金目標額 13,634,000円

1世帯あたりの目安額って?

目標額を達成するために、一世帯あたりの目安額を設けています。
笛吹市の「家庭募金」の目安額は、1世帯800円です。これは強制では
なく、あくまでも目安ですので募金額は皆さまのお気持ちでご協力
いただければ結構です。「家庭募金」は各地域の役員さんにご協力
いただき募金活動を行います。

お問い合わせ先

山梨県共同募金会 笛吹市支会事務局
社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会(本所)
笛吹市八代町南 917 TEL055-265-5182



協社の役割

住民

笛吹協社

笛吹市

安心して暮らせる
幸せあふれる
まちづくり

地域づくり

福祉教育

災害対応

相談

『できる』が増える

自分らしい生活

～生活のパートナー～

「ホームヘルパー」との二人三脚

今号のかけはしでは、数年前からホームヘルパーと二人三脚でIHクッキングヒーターの使い方を習得し、バランスを考えた料理のレパートリーも増えたことで“心も体も元気”になった、古屋さんを紹介させていただきます。

新しい調理器具への挑戦

古屋さんは介護保険を利用し、ホームヘルパーなどの福祉サービスを受けています。古屋さんは笑顔が素敵で、物事に前向きに取り組まれ、地域の方からも愛される存在です。

古屋さんはもともとガスコンロで調理をしていましたが、古くなっていたので数年前に笛吹社協職員と相談のうえ、火事の危険も少ないIHクッキングヒーターに変えました。

始めは使い方が今までと違う為、うまく使えませんでした。が、ホームヘル

パーのサポートのもと少しずつ慣れ、スムーズに使えるようになりました。

料理って美味しくて、楽しい

古屋さんから、『もっと色々な料理が作れるようになってほしい』という要望を受け、ケアマネジャーは、ホームヘルパーの利用回数を増やし、一緒に調理をする機会を多くしました。

調理をする時は、古屋さんとホームヘルパーで相談しながらメニューを決めていきます。調理の仕方も古屋さんのやり方を尊重しながら進めていきます。

心も体も元気になる自立生活を目指したレシピ

ホームヘルパーさんが教えてくれた料理をもっと知りたい！

一緒に勉強していきましょう

①

1つずつゆっくり覚えていきましょう。

②

よかったら食べてね

おいしいね！

上手だね！

③

みんなにもほめられたから、もっと作れるようにがんばります！

④

繰り返す



訪問介護サービスについて(ホームヘルパー)

ホームヘルパーは利用者のご自宅に訪問し、自立した生活が送れるよう、利用者の心身の状態やご家族の介護の負担軽減など利用者の状況に合わせた支援を行います。

介護保険法や障害者総合支援法に基づき、『食事・排泄・入浴などの介助』『洗濯・買い物・調理などの生活の支援』や、障がいのある方の『通院・外出の介助』など社会参加の支援なども行っています。

そして、現在では、料理のレパートリーも増え、手際よく調理ができるようになりました。

健康にも料理はお役立ち

病院で医師から「健康のためにコレステロールに気をつけましょう」と言われまして。そこで、ホームヘルパーと一緒にメニューを考え、食材を選びながら買い物をしました。毎日通っている作業所へ持つていく弁当箱も小さめのものに変えました。カロリーを気にしながら調理をすることでコレステロールが低下し体重も減らすことができました。

今では、毎日の料理が健康に役立っています！

仲間にもほめられ 次への活力に!!

古屋さんが通う作業所では、お昼に輪になってお弁当を食べます。古屋さんお手製のお弁当は作業所の仲間にも人気があり、特に若い子は煮物や焼き魚に興味津々です。

食事のカロリーも気を付けるようになりました。



「おいしい。」というみんなの声が、古屋さんの次の活力になっています。また、『健康の為にカロリーの高いものはかりでなく、煮物などあっさりしたものも取った方がいいよ』と仲間にも声をかけ、仲間の健康にも気づかっています。



仲間と一緒に箱を作る古屋さん

作業所の仲間とも仲良しな古屋さん



作業所職員 古屋さん

古屋さんの笑顔は誰もが癒される不思議な魅力を持っています。地域の区長や民生委員も、粗大ゴミ出し、草刈りなど日頃から気にかけて、支援の必要なところに手を差し伸べてくださっています。

地域に暮らす一人として自分らしい生活ができるように、社協職員は地域の皆さまと連携を取りながら、細やかな相談に乗り、皆様の生活を応援しています。

まとめ

信頼関係からはじまる 自立した生活

訪問介護サービス（ホームヘルパー）は利用者のお宅にあらがり、サービスを行います。そのサービスは家政婦さんのように、家事を全て行うのではなく、できる限り自分自身で行っていただき、利用者の『自立した生活を目指した支援』を行います。

利用者の行動を尊重した支援をする為には、信頼関係を築くことが最も大切です。ホームヘルパーのサポートが『自分にとって良いことを教えてくれている』と信じてもらえることで、初めて『自立した生活を目指した支援』ができます。今号に紹介させていただいた古屋さんも、本人の頑張りによつて料理ができるようになったことはもちろんですが、信頼関係を築き、ホームヘルパーを信じてくれたからこそ料理にチャレンジしていただけたのだと思います。

これからも、笛吹社協のホームヘルパーは多くの利用者が自分らしく住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、信頼関係を第一に支援を行っていききたいと思います。

お問い合わせ

笛吹市社会福祉協議会 訪問介護事業所
〒406-0822 笛吹市八代町南917

TEL: 055-265-5233 | FAX: 055-265-4488

絆
福祉
健康

市民イベント情報

ボランティア

ふれあい

第1回

いちのみや 絆まつり

11/8
(土)

- 【場所】 笛吹市役所
一宮支所駐車場
- 【時間】 10:00～14:00
- 【内容】 ステージ発表[園児～一般] 模擬店 抽選会
展示 体験スタンプラリー ほうとう 綿菓子
150名無料配布

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
一宮地域事務所
TEL:0553-47-2288

講演
「タバコのからくり…
子供たちがだまされな
いために！」
一宮温泉病院 禁煙外来
松尾邦功医師

第2回

芦川町ボランティアまつり

11/8
(土)

- 【場所】 芦川小学校体育館 校庭
- 【時間】 9:30～15:00
- 【内容】 小学校ほかほか祭り盛上げ隊 色葉もみじ植
樹体験 町内ごみ拾いボランティア
ほうとう・焼き芋無料配布

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
芦川地域事務所
TEL:055-298-2170



第31回

石和福祉健康まつり

11/9
(日)

- 【場所】 笛吹市スコレーセンター
- 【時間】 9:00～14:30
- 【内容】 ステージ発表 模擬店 体験 展示 健康相談
日赤バザー おたのしみ抽選会

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
石和地域事務所
TEL:055-262-1267



第2回

みさか福祉健康まつり

11/9
(日)

- 【場所】 御坂福祉センター
農村センター 保健センター
- 【時間】 9:45～13:30
- 【内容】 模擬店 ステージ発表 展示 体験
スタンプラリー おたのしみ抽選会
豚汁・ポン菓子無料

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
御坂地域事務所
TEL:055-263-0848



第2回

八代ふれあい祭り

11/16
(日)

- 【場所】 笛吹市役所
八代支所駐車場
- 【時間】 10:00～14:00
- 【内容】 ステージ発表 模擬店 体験 フリーマーケット
バザー 笑顔カレンダーづくり

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
八代地域事務所
TEL:055-265-2240



第22回

春日居ボランティアまつり

11/30
(日)

- 【場所】 春日居福祉会館 郷土館
あぐり情報ステーション
- 【時間】 10:00～14:30
- 【内容】 模擬店 ステージ発表 フリーマーケット
スタンプラリー 抽選会 豚汁・綿菓子・
ポン菓子無料

【お問い合わせ】
笛吹市社会福祉協議会
春日居地域事務所
TEL:0553-26-3667



布施の心〜共同募金に想う〜

布施というと、法事が終わって、お坊さんにお渡しする、いわゆる「お布施」を思い浮かべます。だから、布施は読経の対価と考えがちですが、どんなでもない間違いです。

布施とは施す（ほどこす）ことです。言葉の起源としては、お坊さんに衣服を施すことからきていますが、仏教の教義の中で鍛えられ、重要な教えとなりました。布施として施されるのは、お金や品物だけではありません。金品を施すことを「財施」といいますが、お金がない人でも布施はできます。「無財の七施」といいます。

眼施（がんせ）：優しい眼差しで人に接する。

和顔施（わがんせ）：和やかな明るい顔で人に接する。

言辞施（ごんじせ）：優しい言葉をかける。

身施（しんせ）：身をもって布施する。

心施（しんせ）：慈悲の心を施す。

牀座施（しょうざせ）：自分の席を譲る。

房舎施（ぼうじゃせ）：宿や休憩の場を提供する。

笑顔で人に接したり、優しい言葉をかけたり、それだけで布施です。誰でもできますね。

桃源郷に住む人は、どんな心持ちだったらいのだろうか、と思ひ致すことがあります。老若男女市民みな布施の心を持つことができれば、どんなにか素晴らしいまちになるでしょう。布施で大事なものは、施す人、施される人、施されるもののすべてが清浄でなければならぬということです。施しを受けた人が感謝の心を持つのは当然ですが、施した人も「施させていただいてありがとう」の心を持たなければなりません。共同募金について考えていたら、線香の香りのする世界に迷い込んでしまいました。付け焼き刃で恐縮ですが、布施の心を大切にして生きていきたいものです。



倉嶋 清次

福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

最近物忘れがひどくなったな、などと感じることはありませんか？
そんなあなたの生活やお金をまもるなどのお手伝いをします。

色んな不安にお応えします

お問い合わせ 相談

社会福祉法人
笛吹市社会福祉協議会（本所）
TEL: 055-265-5182



介護保険など福祉サービスの利用
手続きがわかりません。

福祉サービスの利用援助サービス



お金のやりとりや預金のおし入れに
自信がありません。

日常の金銭管理サービス



通帳や印鑑・年金証書を
なくしてしまいます。

書類等の預かりサービス

善意の寄付・寄贈の御礼

5月

望月 智彦 様

[一宮]

▶ ピアノ1台

8月

古屋 けさよ 様

[春日居]

▶ 紅白幕180cm×5間

7月

でばん会 様

[春日居]

▶ 自動血圧計1台

9月

福井 知子 様

[石和]

▶ 紙おむつ3袋 パット2袋

篠本 耕二 様

[石和]

▶ 金 50,000円

アピタ石和店 様

[石和]

▶ 金18,838円

かぶと山の会 様

[春日居]

▶ 木製縁台3脚

境川体育協会

[境川]

▶ 金34,980円

弦間 重雄 様

[御坂]

▶ 毛布5枚

ゴルフ部 様

匿名希望 様

▶ 水・イオン水 240本

ご協力いただきありがとうございます



「ふえき通信」

障がいがあっても

住みやすい笛吹市にするために…

市民ミーティング、

開催されました!!



7月12日の土曜日、笛吹市ふれあいの家を会場に行われたハートランドふえき祭りは、好評のうちに幕となりました。ハートランドふえき祭りは、障がいを持った方々との交流を目的とした祭りです。市内からは多数の方が来場され、各種模擬店やステージで、皆さんで楽しみました。

ご来場して頂いた方々には心より感謝いたします。

さて、今回のハートランドふえき祭りには、特に力を入れたイベントがありました。それは、笛吹市倉嶋市長と市民で作る「市民ミーティング」。障がいがあっても住みやすい笛吹市にするためにはどうしたらいいのかをテーマに、皆で話し合う場は無いものかと言った意見があり、ハートランドふえき祭りのメインイベントとして何とか実現させたいと企画した物です。

市長には直接話を聞いて欲しいと、予定よりはる



かに多い70名の方が集まり、会場に入りきらないほどでした。

10時15分。ミーティング開始と同時に、様々な意見を市長に投げ掛けました。



行政側 倉嶋市長、遠藤福祉事務所長、
飯島福祉総務課長、障害福祉
担当茂手木リーダー

司会者 自立支援協議会当事者・
家族部会代表 高野
聴覚障害者 羽田
身体障害者 三枝

「意見のまとめ」

誰もが障がい者になり得る可能性をもっており、また、障がいや病気による苦しい人生は、自ら選び取ったものではない。障がい者も共に社会生活を営む市民として、理解し、認め、役割のある社会を作してほしい。

市民の立場で日常的に作っていく福祉の必要性を感じており、ボランティア活動を更に活性化させるようなシステムを検討してほしい。また、障がい者や社会的弱者から学びやすい街づくりは、全ての人々に必要なものであるので、実現してほしい。

支援学校に通学する子ども達の放課後支援サービスが不足しており、放課後の活動場所を増やして欲しい。また、市内学童保育を強化して支援学校通学児童の受け入れも検討してほしい。

山梨市の障害者住宅に子どもだけ住んでいるが、制度・サービスが市町村で違い、年齢を重ねると生活圏が広範囲だと負担が大きくなる。地元で暮らせるように障害者住宅を笛吹市に作してほしい。

自閉症が重い子どもの支援学校卒業後の受け入れ施設が少ない。受け入れ先を増やして欲しい。

重度障害者であっても、もっと自由に外出できるように、障がい者の移動の課題についても考えてほしい。

駅周辺に障がい者の交流の場、気付いたことを行政に伝えられる場、高齢者の集える場所としての機能をもった、福祉会館を作りたい。

手話言語条例の制定をお願いしたい。

様々な意見を受け、倉嶋市長から最後には「言い訳せず、まっすぐに皆さんの意見を受け止めて、福祉の前進のため、文字通りの「ハートランド」実現のために頑張っていく」と、力強いメッセージを頂く事が出来ました。

設定した1時間を越え、終了時間を過ぎても「言いたいことはもっとある」「1回だけでは勿体無い」「続けてもらえないだろうか」等の声を受けつつ、大好評のうちに市民ミーティングは終了しました。

ハートランドでの市民ミーティングは終了ですが、一度のミーティングで多くのことを理解出来るわけでは有りません。今後このような場を多く提供出来たら・・・と考えています。

「平成26年度朗読奉仕員養成講座」終了いたしました。

今年度の朗読奉仕員養成講座が終了し、新しい奉仕員が誕生しました。

これは、広報誌等をCDに録音し、目の障がいを持つ方に配布するとき等に活躍して頂ける奉仕員を養成するものです。

今年も水曜の夜間に講座を開きました。

最終日となったこの日には、一人ひとりに修了書を手渡し、今後の活躍を願いました。

